

東つつじヶ丘2丁目道路陥没にかかわる緊急要望書

調布市長 長友 貴樹 様

2020年10月21日 日本共産党調布市議団

雨宮 幸男

武藤 千里

岸本 直子

坂内 淳

2020年10月18日に、調布市東つつじヶ丘2丁目市道及び住宅で朝から昼にかけて地盤の沈下、陥没事故が発生しました。翌日に開催された「第22回東京外環トンネル施行等検討委員会」資料では、地下に6m×5m 深さ5mの巨大な空洞が出来、道路陥没がおきたことが判明しました。

一歩間違えれば大惨事になる重大事態であり、周辺住民は不安に脅えています。

現場は、外環道トンネルの直上であり、1か月前に掘削がおこなわれた際には、多くの住民から騒音・振動の苦情、地盤沈下や家屋の損傷の訴えがよせられていましたが、対策や原因究明が無いまま、掘削が続行されてきたのが実態です。

今回の事態を受け日本共産党調布市議団は、調布市に対し以下の事項について、対応されるよう、緊急に要望するものです。

記

1. 事業者に対し、陥没事故周辺地域の安全確保のための万全の処置をとり、原因究明に全力をつくすよう求めること。あわせて、避難や損害を受けた住民への補償もふくめ、万全の対応をとることを求めること。
2. 事業者に対し、陥没事故の正確な情報、安全確保の対策、被害への補償、原因究明の方針について、現場周辺の住民への周知を求めるとともに、説明会など、質問・要望を聞く機会を設けさせること。
3. 事業者が、取得している安全にかかわる情報、特にシールド工事前後の地表面の測量結果、振動の計測結果について、住民と市へのすみやかな提供を求めること。
また、今後の安全対策、原因究明の調査で入手したデータについて、住民と調布市へ提供するよう、求めること。
4. 事業者に対して、今回の陥没事故の緊急時の対応についての検証を求め、改善

策を住民と調布市に示させること。また、緊急時対応について、住民の意見や要望を聞く機会を設けるよう、求めること。

5. 調布市として、住民の不安・要望に丁寧に対応し、事業者に対策を求めること。

6. 調布市として、事故原因の究明、安全対策の実施、緊急時対応の抜本的改善を求め、住民合意が得られないままの工事再開は、認めないこと。

以上